

SHIRO

PAPER

ZERO
EDITION



4 582757 630823

ZERO EDITION

Ver. 1.0

January 2024

2

NEW FRAGRANCE

新しくつくりたい

新たなものづくりから

限定フレグランス

3

STORIES

ZERO COLLECTION

誕生の背景

SHIROの原点と未来

4

PROJECTS

社会を循環させるために

SHIROが取り組むアクション

わたしたちにとっての当たり前



ZERO
SAVON

EAU DE PARFUM

40ml/1.35us fl oz

わたしたちの周りは、可能性であふれている。新しくつくりたい新たなものづくりから限定フレグランス ZERO COLLECTION FRAGRANCE 誕生

誰かが手放したものを。それは、誰かにとっては必要なものかもしれない。新たにものをつくり続けることで地球に負荷がかかり、今、そして未来に、私たちに返ってくるのです。

自然の恵みを最後の一滴まで余すことなく使いものづくりをしているブランドだからこそ、使われなくなったすべての資源を活かしたい。

そんな想いを具体的にかたちにした第1弾は、リニューアルによって余ってしまった香料と使われなくなった容器を使ったフレグランスづくり。限りある資源から生まれる、二度とつくりえない今だけの3種類の香りが登場します。



本コレクションで使用している容器は、香料変更前に印字していたものや、ロゴなどの印字がズレてしまったものなど。容器としての役目は果たせるのにそのままでは使うことができず、SHIROの工場ですべての資源を無駄にせず、元々印字されていた香り名や成分表示の部分だけを覆うようにラベルシールを貼り、紙資源の利用を最小限におさえられるパッケージデザインに。それぞれの香りをイメージしたカラーのラベルを剥がせばシールと容器で分別でき、使った後の循環も考えています。お住まいの地域のルールに従って分別してください。

価値は変わらないのになぜ使われない？ 倉庫を見渡して考え直したこと

フレグランスはもちろん、料理も、衣服も、さまざまな素材を組み合わせることで、世の中の製品はつくられています。そのときどうしても生まれてしまうのが、余りもの。製品の売れ行きやものづくりに関わるルールの変更、端材や欠損品など、余りものが生まれてしまう要因はさまざまです。

実はSHIROの工場や香料会社の倉庫にも、決して少なくない量の香料が余っていました。香料の使い方を定める国際機関の方針転換、香りのリニューアルや期間限定製品に際して使わなくなった香料が倉庫の片隅に眠っていたのです。それに加えてすでに容器に製品情報を印字していたものや、キズなどの不良を見越して少し多めに仕入れていた容器も積み重なっていました。

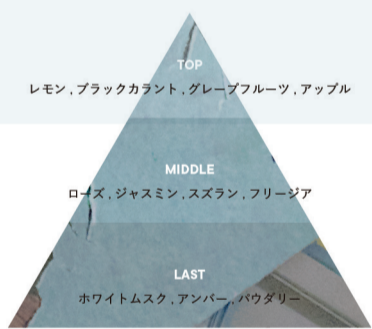
品質の高い製品をつくり出す過程で生まれるこれらの余剰品に丁寧に向き合うことは、今のSHIROがやるべきことのひとつ。できるだけ余りが出ないように工夫するのは当然ですが、それでもどうしても余ってしまうものを捨てるのではなく、活かす取り組みをはじめました。私たちが向かうべき方向への決意を、このZERO COLLECTIONに込めました。

ZERO SAVON EAU DE PARFUM 40ml/1.35us fl oz

ZERO SAVON ゼロサボン

やわらかな甘さにみずみずしい果実をプラスした、可憐さを持つ上品でスウィートな香り

まるでお菓子のような甘くやわらかい香りをベースに、レモンやアップルなどの甘酸っぱさを加えたトップからはじまる『ゼロサボン』。リニューアル前のサボンの香料を引き立てる花々の香り。ラストのパウダリーが肌になじめば、まっとうだけでわくわくして心がはずむフレッシュな甘さを楽しめます。



ZERO WHITE LILY ゼロホワイトリリー

優美で華やかなリリーと、花々のレイヤードが作り出す至高のフレッシュフローラル

リニューアル前のホワイトリリーの香料から生まれたのは、SHIROで最も優美な花の香り。みずみずしいさわやかなグリーンでリリーの華やかさが際立ちます。シュッとひと吹きするだけで、お花屋さんでブーケを束ねるときのような豊かな香りが広がり、至高のフローラルが包み込んでくれます。



ZERO WHITE TEA ゼロホワイトティー

あたたかみとフレッシュさが共存する果実とティーを、ウッドイがやさしく包み込む

ベルガモットやペアーの果実感をアクセントに、甘さのあるフローラルをプラスすることでリニューアル前のホワイトティーの香料に奥行きが生まれました。ラストのやわらかなウッドイの香りが、シトラスとフルーティーフローラルを穏やかに引き立てて、どんなときの気分にも寄り添ってくれます。



持ち寄ってつくる新しい香り、新しい魅力

31.8%

IFRA (国際化粧品香料協会) による使用可能重量比などに伴う製品リニューアルで、工場ですべての資源を無駄にせず、元々印字されていたものや、キズなどの不良を見越して少し多めに仕入れていた容器も積み重なっていました。



38.5%

使われなくなった854,286本の容器のうち、328,483本を今回の限定フレグランスに使用しました。

「余りもの」は少しネガティブな響きのある言葉です。ZERO COLLECTIONは、お客様の期待を悠々と超えるくらい、新しい魅力のある香りを生み出すことを目指しました。それは、SHIROのスキンケア製品ですですに取り組んでいたこと。昆虫や酒かす、米ぬかなどは、栄養をたくさん含んでいるにも関わらず、つくる工程で生まれる副産物であることや、見た目などから規格外となり捨てられてしまっていたものを使ってものづくりしたことがスタート。そのやり方をフレグランスでもできるのではないかと考えたのです。サボン・ホワイトリリー・ホワイトティー。いずれも、多くのお客様に愛されている定番の香りです。これまでのファンの皆さまにも愛され、新しいお客様にも届くような香りを探し、試作を重ねました。

無限にある香料の中から理想的な香りをつくり出せる通常のフレグランスづくりとは違い、ZERO COLLECTIONは、すでに手元にある香料の組み合わせで魅力ある香りをつくれるかが命題。時にそんな制限は、ものづくりにおいてミラクルを生み出します。『ゼロサボン』はサボンよりも、やわらかな甘さとフルーティーさが上品にまとまった可憐な香り。『ゼロホワイトリリー』は、咲き誇る花々を束ねたようなフレッシュフローラルの香りにより華やかに。『ゼロホワイトティー』は、フルーティーフローラルをほのかなウッドイが包み込む香り。

とにかくイメージを膨らませ、手を動かし、試し続けてできた香りは、これまでの魅力を引き継ぎつつ、まったく新しい香りにも感じられるかと思えます。私たちが自信を持って提案する3種類の香りをぜひお試しください。そして感想を教えてください。

ZERO COLLECTIONはSHIROの原点と未来

ZERO COLLECTIONの「ゼロ」は、廃棄物を極限まで減らしていくという意味だけでなく、SHIRO創業のときからずっと持ち続けている原点(ゼロ地点)に今一度立ち返るという意味も込めています。私たちが大切にしているのは、自分たちが使いたいものをつくること、世の中をしあわせにすること。そしてこれまでずっとスキンケア製品に込めてきた、使われなくなったすべての資源を活かしたいという想いを、フレグランスでも実現していきます。

2024年、私たちは、工場、店舗、カフェ、オフィス、倉庫に至るまで、あらゆる場面でゼロに向き合っていきます。容器を回収し、洗浄して、リユースする。ものづくりのはじめから、分別を考慮して進める。カフェの生ゴミをコンポストにする。スキンケア製品に用いている自然素材の搾りかすは、カフェのメニューや新たな製品にアップデートする。さらに今後は、SHIROだけでなく、生産者さんや香料会社、資材の製造会社、コスメティック業界だけでなくさまざまな分野において余っているものを持ち寄り、新しい価値を生み出していきたいとも考えています。

細部にもこだわり「やるべきこと」を諦めていない製品こそ、今私たちが「自分たちで使いたいもの」です。もちろん、質が高いのは当たり前。品質に自信があるからこそ、自分たちが思い描く未来についても堂々と発信していけるのです。より良い製品を生み出し、より良い社会づくりに貢献するという両輪の象徴がZERO COLLECTIONです。



94t

SHIROの工場や全国の店舗、カフェ、オフィス、倉庫から生まれる廃棄物の量は約94t。これをどこまでゼロに近づけられるかに挑戦します。



33,200kg

今回328,483本の容器を再利用したことにより、廃棄する際に排出される約33,200kgのCO2を削減できました。

※CO2排出量算出の根拠について
CO2排出量は、国立研究開発法人産業技術総合研究所 安全科学研部門 IDEAラボが提供する「IDEA ver3.1 (日本国内の事業における原材料・製品・サービスの環境負荷をライフサイクル/バリューチェーンを考慮し見える化したデータベース)」を基に弊社独自に算出しています。

SHIROが目指す未来

みんなが資源を大切にできる世界

工場での製造工程や倉庫での配送準備中、店舗で検品しているとき、容器に小さなキズや、ロゴなどの印字がほんの少しかすれたものが見つかることがあります。このような製品が自社製造だけでも年間約10,000点あり、開発途中の試作品を入れる容器として、また中身の品質には問題のない製品なので店舗でスターとして活用してきました。今後は他社製造分も再利用したいと考えています。そして、SHIROは皆さまと一緒に地球への負荷を最小限にするアクションを取りたいという想い



から、これらの製品も通常価格で販売することになりました。見た目の違いもそれぞれの個性として愛される、それが当たり前の世界にしていきたいと思っています。

未来を変えたいから考え続ける

世界では毎日大量の廃棄物が発生しています。SHIROから年間に出るその量は約94t。でも私たちに、捨てるものを生み出したくない、減らしたいという強い想いがあります。だから店舗では、テスターを最後まで使い切り、使うメモも電子化しています。使い捨てになっ



て使用した紙製のパネルを再活用しています。一つひとつは本当に小さなアクションですが、未来を変えたいからこそ、日々何をどうすれば資源を使い続けられるのか考え続けていきます。



素材の恵みを最後の一滴まで

素材の力を引き出すものづくりは、がごめ昆布の固くて食べられない部分からスキンケアをつくったことがはじまり。ただだもったいないという気持ちで、アップサイクルやサステナブルという言葉が広まる前から当たり前に向き合ってきました。生産者さんが大切に育てた素材は、どれも栄養たっぷりのものばかり。これからは地球に感謝をしながら恵みをいただき、少しずつでも還元していきます。



森林資源を守るために

紙の材料である森林資源を守りたいという想いから、いずれ廃棄される紙類を受け取らない選択肢を設け、2022年には全製品をパッケージレスにしました。同時に、紙を大切に使うため、お手さげ袋を有料化。これらの取り組みから約94,100kgの紙資材を削減しました。この量は約190本の木（1本あたり1t）に相当します。皆さまの選択とご協力によって、つくり出すことのできている未来のひとつです。



自然の都合に合わせた建物づくり

素材の採れる時期や量は毎年変化します。SHIROではそれに伴い製品の処方やつくる量なども見直し、自然の都合に合わせたものづくりをしています。それは建物づくりにおいても同じ。昨年リニューアルしたルクア イーレ店では什器を捨てずにそのまま表層替えをして、余っていた容器を左官材に混ぜて使用。SHIROのお店や建物づくりは、一度は不要になったものにクリエイティブを注いでいきます。

SHOP LIST

北海道

SHIRO 砂川本店
SHIRO 札幌ステラブレイス店

北海道砂川市豊沼町 54-1 みんなの工場内
北海道札幌市中央区北 5 条西 2-5 JR タワー
札幌ステラブレイスセンター B1

関東

SHIRO 表参道本店
SHIRO BEAUTY 表参道本店
SHIRO 自由が丘店
SHIRO NEWoMan 新宿店
SHIRO ルミネエスト新宿店
SHIRO 伊勢丹新宿店
SHIRO 丸ビル店
SHIRO 銀座三越店
SHIRO +Q (プラスク) ビューティー
渋谷スクランブルスクエア店
SHIRO 渋谷ヒカリエ ShinQs店
SHIRO ルミネ池袋店
SHIRO 玉川高島屋S・C店
SHIRO ルミネ北千住店
SHIRO ルミネ横浜店
SHIRO ルミネ大宮店
SHIRO/TIAT DUTY FREE BEAUTY

東京都渋谷区神宮前 5-2-7 2F
東京都渋谷区神宮前 5-2-7 B1F
東京都目黒区自由が丘 2-9-14 アソルティ 1F・B1F
東京都新宿区新宿 4-1-6 NEWoMan 新宿 1F
東京都新宿区新宿 3-38-1 ルミネエスト新宿 B1
東京都新宿区新宿 3-14-1 伊勢丹新宿店本館 1階 = 化粧品
東京都千代田区丸の内 2-4-1 丸の内ビルディング B1F
東京都中央区銀座 4-6-16 銀座三越 地下1階 ギンザコスメワールド
東京都渋谷区渋谷 2-24-12 渋谷スクランブルスクエア
ショップ&レストラン6階 SHIRO +Q (プラスク) ビューティー店
東京都渋谷区渋谷 2-21-1 渋谷ヒカリエ ShinQs 1F
東京都豊島区西池袋 1-11-1 ルミネ池袋 B1
東京都世田谷区玉川 3-17-1 玉川高島屋 S・C 南館 1F
東京都足立区千住旭町 42-2 ルミネ北千住 3F
神奈川県横浜市西区高島 2-16-1 ルミネ横浜 1F
埼玉県さいたま市大宮区錦町 630 番地 ルミネ大宮店 ルミネ 2 3F
東京都大田区羽田空港 3-4-2 第2ターミナル3階 国際線出国エリア内

中部

SHIRO タカシマヤ ゲートタワーモール店
SHIRO ジェイアール名古屋タカシマヤ店

愛知県名古屋市中村区名駅 1-1-3 タカシマヤ ゲートタワーモール 6F
愛知県名古屋市中村区名駅 1-1-4 ジェイアール名古屋タカシマヤ 3F 化粧品

近畿

SHIRO 大丸京都店
SHIRO ルクア イーレ店
SHIRO 阪急うめだ店
SHIRO 大丸心斎橋店
SHIRO 大阪タカシマヤ店
SHIRO 大丸神戸店

京都府京都市下京区四條通高倉西入立売西町 79 大丸京都店 1F
大阪府大阪市北区梅田 3-1-3 ルクア イーレ 2F
大阪府大阪市北区角田町 8-7 阪急うめだ本店 3F HANKYU BEAUTY
大阪府大阪市中央区心斎橋筋 1-7-1 大丸心斎橋店本館 1F
大阪府大阪市中央区難波 5-1-5 高島屋 大阪店 1階化粧品売場
兵庫県神戸市中央区明石町 40 番地 大丸神戸店 本館 1F 化粧品

九州

SHIRO 岩田屋店
SHIRO 博多阪急店

福岡県福岡市中央区天神 2-5-35 岩田屋本店 本館 1階 = 化粧品
福岡県福岡市博多区博多駅前中央街 1-1 博多阪急 1F 化粧品

台北

SHIRO 新光三越台北信義新天地 A11 店

台湾台北市信義區松壽路 11 號 1 樓

London

SHIRO St. Christopher's Place
SHIRO Monmouth Street

Ground Floor, 15 St Christopher's Place, London W1U 1NJ, UK
Ground Floor, 63 Monmouth Street, London, WC2H 9DG, UK

SHIRO
PAPER

ZERO EDITION
Ver. 1.0

発行：株式会社シロ
お問い合わせ
TEL: 0120-275-606
MAIL: info@shiro-shiro.jp

編集長：今井浩恵
Editor in Chief: Hiroe Imai

クリエイティブ・ディレクター：佐々木信 (3KG)
Creative Director: Shin Sasaki

エディター：葛原信太郎
Editor: Shintaro Kuzuhara

表紙写真：成尾和見
Cover Photograph: Masami Naruo

発行人：福永敬弘
Publisher: Takahiro Fukunaga

プロデューサー：伊藤亜由美 (CREATIVE
OFFICE CUE)
Producer: Ayumi Ito

フォトグラファー：澤圭太
Photographer: Keita Sawa

フォトグラファー：フランシスカ・デルキ
Photographer: Francisca Derqui

編集企画：野木村美里
Editorial Planning: Misato Nogimura

PR・校正：小林穂乃香
Public Relations: Honoka Kobayashi

PR・撮影：笹木舞子
Public Relations: Maiko Sasaki

Thanks to:
天野志穂 / 石坂産業の皆さん

印刷：株式会社龍文堂
Print: Ryubundo Co., Ltd.

Copyright © SHIRO Co.Ltd.
All Rights Reserved.
本誌掲載の写真、イラストレーション、記事、
ロゴの無断転載および複写を禁じます

shiro-shiro.jp
@shiro_japan

